

住人十色

第196回



◎ (左から) 奥平^{みつお}光夫さん、石田さん、城戸^{まもる}司さん、佐藤さん、谷岡さん、泉^{とみえ}富衛さん

農家の悩みを、地域の恵みに変えたい 異業種6人で挑む「ジビエでまちおこし」

企業組合 内子ジビエの皆さん

冷凍車のコンテナを活用した食肉加工施設に集まった企業組合内子ジビエの皆さん。イノシシなどを食肉として商品化し、4月から道の駅で販売を始めました。メンバーの本業は猟師、包材屋、運送業などさまざま。組合では捕獲された個体の回収から解体・精肉加工、肉みそなどへの二次加工、パッケージ制作や配達まで担い、多才な仲間の持ち味が光ります。西予市で精肉店を営む佐藤^{たろう}太朗さんは、処理や販売のプロとして助言。農家で鳥獣被害に悩んでいた谷岡^{まこと}真衣さんは「狩られた命も、主婦の目線も生かしたいと思って」と参加当手を振り返ります。「ジビエのイメージを変えたい」と話すのは、代表の石田^{しゅうへい}脩平さん。「当初は食べたこともなくて。でも適切に処理すれば驚くほど甘い。まずは塩焼きで味わって」と熱く語ります。ドングリが多い内子は、近隣がうらやむほど良質のジビエが育つそうです。牛肉や豚肉に並ぶ選択肢となる未来を目指し、納得がいく品しか出さないのが信念。「飲食店でも使ってほしい」「生ハムもできたらいい」と、仲間と夢が広がります。石田さんは「我慢したくなる内子の特産品に育て、まわづくりにつなげたい」と意気込みました。

編集 幸記

▽前回のドイツフェスタの取材で「次は絶対に飲みに来るぞー」と誓ったのに、今回もかないませんでした……。今年は姉妹都市盟約締結15周年で、関連イベントが盛りだくさんです。皆さんお楽しみに(史)

▽「編集幸記くらい、格好良いことを書きたい」。そう思うほど、なぜか頭に浮かぶのは「盲腸になって、もう超シヨック!」なんてダジャレばかり……。最近暑くなってきましたからね。頭も少し夏バテ気味というところでお許しください(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

